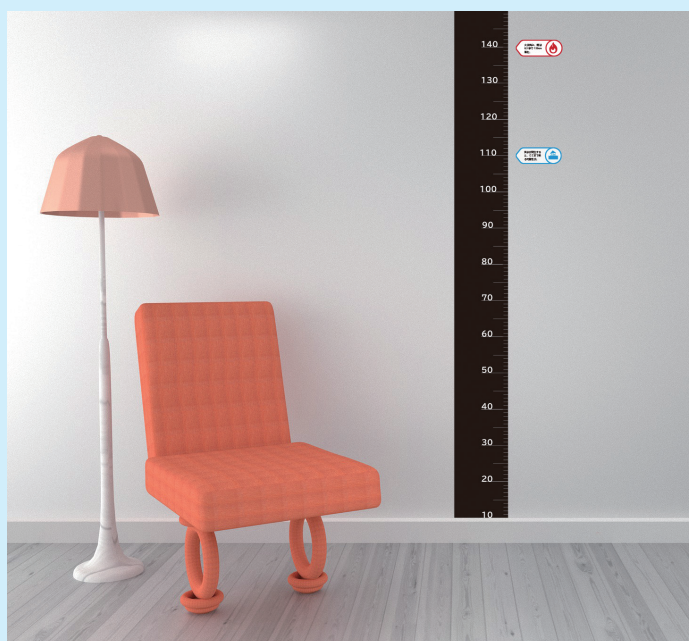


THE 14th

MEDIA UNIVERSAL DESIGN COMPETITION



まえがき

全日本印刷工業組合連合会・CSR推進委員会では、2020年12月に開催いたしました「第14回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」におきまして高い評価を得た作品を、受賞作品集として冊子にまとめました。

今回は3つの募集部門（①グラフィックテクニック（DTP）②商品企画③製本、加工技術）に対し、全国から227点（一般の部：64点、学生の部：163点）の応募をいただきました。これらの作品については審査会で厳正な審査が行われ、全22点の受賞作品が決定いたしました。

それぞれの受賞作品には寺井審査委員長による講評を掲載していますので、メディア・ユニバーサルデザインについてさらに深くご理解いただくためのツールとしてご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、本コンペティションの趣旨にご賛同いただきご後援・ご協力を頂戴しました官公庁・企業・団体の皆さま、および作品のご応募を頂戴しました皆さま、審査会にご参加いただきました審査委員の皆さまに心より御礼を申し上げます。

全日本印刷工業組合連合会
会 長 滝 澤 光 正
CSR推進委員会
委員長 浦 久 保 康 裕

第14回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション審査委員（敬称略・順不同）

審査委員長

寺 井 剛 敏（金沢美術工芸大学 視覚デザイン研究室 教授）

審査委員

古 瀬 敏（一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 理事長）

伊 賀 公 一（NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長）

田 中 陽 介（NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長）

伊 賀 星 史（NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 CUDアナリスト）

土 生 英 彦（色覚問題研究グループぱすてる 事務局長）

高 橋 正 実（MASAMI DESIGN）

小 浜 朋 子（静岡文化芸術大学 デザイン学部 デザイン学科 教授）

武 田 一 孝（一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会 専務理事）

竹 綱 彰 浩（きづきデザインラボ）

伊 藤 裕 道（NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会 会長）

橋 本 博（NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会 事務局長）

浦久保康裕（全日本印刷工業組合連合会 CSR推進委員会 委員長）

オブザーバー

富 田 智（経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長補佐）

第14回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 審査結果

応募総数：227点（一般：64点、学生：163点）

		部門	企業・学校名	出品者（敬称略）	作品名	都道府県
経済産業大臣賞	一般	商品企画	松本印刷株式会社	高山七海 奥山ひとみ	災害時情報共有ツール	静岡県
	学生	商品企画	専門学校 浜松デザインカレッジ	土川彩音	I.SCALE ～災害の見える化計～	静岡県
優秀賞	一般	グラフィック テクニック (DTP)	株式会社 スタジオオーネ63	及川美恵	こんな日だった	岩手県
		商品企画	株式会社 スタジオオーネ63	小野奏江、片平琴音 木田有美、十倉信	卒カーBOOK	東京都
		商品企画	株式会社マルワ	板倉千夏、服部美紗子 小島知浩、服部昌城	みんなで未来を考えよう ころころとんとん 2030すごろく！	愛知県
	学生	グラフィック テクニック (DTP)	静岡文化芸術大学	鈴木佑季	浜松城 道案内マップ	静岡県
		商品企画	静岡デザイン専門学校	長田裕子	だいじな「いや！」 自分の気持ちと体を 大切にするための絵本	静岡県
		商品企画	静岡デザイン専門学校	松本耕陽	探さないカードケース	静岡県
佳作	一般	グラフィック テクニック (DTP)	杉山メディアサポート 株式会社	宇佐美裕希、高倉千夏 高倉彩華	はじめての引越しガイド	東京都
		商品企画	株式会社 プリプレス・センター	岡田明、川村英昭 中道雅志、土持将吾 森匡史	SDGs環境すごろく	北海道
		商品企画	大阪シーリング印刷 株式会社	田川晶子、宮西麻紀 籠谷昌典、岡田智子 大町瑞穂、坂本綾香 乗松めぐみ、増山由佳	通学路には きけんがいっぱい さがせ！きけん虫！	大阪府
		商品企画	大阪シーリング印刷 株式会社	白川舞、佐藤由実 相田智孝、池田由佳 米田友規子、平田義二 西田あゆみ、柴田みお 澤山慶次	レジコミュニケーションの お手伝い！ ゆびっとシート	大阪府
		商品企画	株式会社マルワ	太田圭亮	カードは立てて かどを立てない	愛知県
		製本 加工技術	田中手帳株式会社	田中尚寛	災害時に役立つ 「コミュック」聴覚障害者 向けコミュニケーション ハンドブック	大阪府
	学生	グラフィック テクニック (DTP)	専門学校 浜松デザインカレッジ	斉藤圭音	服のサイズが分かる 裏地プリント	静岡県
		グラフィック テクニック (DTP)	大阪市立 デザイン教育研究所	木村珠雅	知っておこう！ 点字ブロックについて	大阪府
		グラフィック テクニック (DTP)	大阪市立 デザイン教育研究所	畠山明	あなたも受け継ぐ この国の伝統を。	大阪府
		商品企画	日本電子専門学校	韓侖材	I feel	東京都
		商品企画	静岡デザイン専門学校	小野田匠	証明パッチ	静岡県
		商品企画	専門学校 浜松デザインカレッジ	澤井康平	たのしい 交通安全マグネット	静岡県
		商品企画	専門学校 浜松デザインカレッジ	ヨシムラ ラリッサ ミユキ	F.Palette	静岡県
審査員特別賞	学生	商品企画	福島大学附属中学校	2学年生徒	Our Original Universal Design Products	福島県



経済産業大臣賞（一般の部）

「災害時情報共有ツール」

松本印刷株式会社

高山七海、奥山ひとみ（静岡県）

工夫点

災害時には人々の助け合いが不可欠です。しかし昨今は、感染症対策の観点から食べ物など物資の共有が難しくなっています。そこで、形のない「情報」を被災地で共有できるツールを提案します。

このツールはユニバーサルデザイン適応商品です。各ツールともに、文字はUDフォントを使用しています。判別しやすい色と柄で、誰にでも見やすいデザインにしています。

講評

イラスト、レイアウトなど情報を整理して情報を詰め込みすぎず、余白も活かしたレイアウトが効果的で、幅広い年齢層の方々に読みやすくまとめられています。高齢者、色弱の方への配慮も丁

寧に対応されており、完成度が高く商品化への検討もして欲しいとの審査委員からの声も多く、ぜひ自治体などで実現して欲しい作品です。



災害時に役立つ 健康ガイド

災害用伝言ダイヤル

171に電話をかける

録音 再生

1を押す 2を押す

家族の電話番号を押す 家族の電話番号を押す

録音する 再生する

録音時間は、30秒です 伝言は、48時間後に消えます

切って貼って、共有できる
キリトリミニブック

うがい・歯磨き

食生活のみだれ・ストレス・水分不足によりお口のトラブルは、肺炎の原因にもなります。なるべく毎日の歯磨きを心がけましょう。

歯・ディッシュを指で磨いて歯磨き

フックがうがいだけでも効果的

あごのマッサージ・ガムをかむなど唾液を出す工夫をしましょう

トイレの衛生

避難所のトイレや仮設トイレはみんなが使うものです。なるべくきれいな状態を保ちましょう。近くにトイレが無い場合は簡易トイレを自作する方法もあります。

簡易トイレの作り方

用意するもの 大まきポリ袋(2枚)、新聞紙

① 新聞紙を上げます。

② 袋の中にポリ袋をすっぽり入れます。

③ 新聞紙を折りし、ポリ袋を入れ、2重にします。

④ 袋の口をしっかりと縛ります。

動画でも簡易トイレの作り方を紹介しています

脱水症状の予防

ストレスやトイレの使用を制限されることで、脱水症状になりやすくなります。のどが潤っていないと、次第に水分補給をすることで脱水症状を予防できます。

成人の場合1日1.2Lの水を目安に

コップ約7杯分

水分と同時に塩分も摂る

体温調節

災害時は、停電により冷暖房が使えない場合もあります。電気を使わない体温調節の方法を知っておきましょう。

水分補給をして熱中症予防

首の後ろを冷やす/温める

脇の下を冷やす/温める

寒いときは足元を温める

粉じんの吸引予防

家庭などが倒壊すると、建材や乾燥した土砂などが空気中へ舞い、吸い込むことがあります。粉じんが原因で起こる病気を避けるために十分な対策が必要です。

粉じんが発生しそうな作業をする時にはマスクを着用する

粉じんが付きにくい服を着る

シャカシャカつばね、乾かさない生乾き

水をまいて粉じんの発生を抑える

エコノミークラス症候群

長時間同じ姿勢でいると血栓ができて、血行不良を起し、血管が詰まってしまう。これをエコノミークラス症候群といいます。

定期的に体を動かす

ゆったりとした服を着る

血流を良くする

十分に水分をとる

あなたのこころのケア

眠れない・イライラするといった症状はありませんか？これは身体的な状況に対する自然な反応です。誰かに不安を伝えたり、ゆっくり休むことで徐々に回復していきます。

眠れなくても横になって休む

可能な作業には参加し積極的に体を動かす

思っていることを話す

まわりのこころのケア

自身の体調が万全な時は、周りの人に目を向けましょう。しかし、無理強いをはいけません。保健師や専門の相談員に任せられることも大切です。

そばに寄り添って安心感を与える

話を聴く

辛いことは無理に聞き出さない

MEMO

体や心に異変を感じたら、無理せず近くの医療機関やボランティアなどの専門家に相談してください。

また、まわりに体調が優れない人や精神的なストレスを抱えている人を見かけたら、求めている支援をあげてください。

健康に気をつかいながら、お互いに関わ合いましょう。



経済産業大臣賞（学生の部）

「I.SCALE

～災害の見える化計～」

専門学校浜松デザインカレッジ

土川彩音（静岡県）

工夫点

数字や映像では分からないリアルな高さを、自分の身長を基準にしてマークすることで、自分ごととして防災意識を持つことを可能にしたスケール。ユーザーが住む地域の過去起きた災害だけ

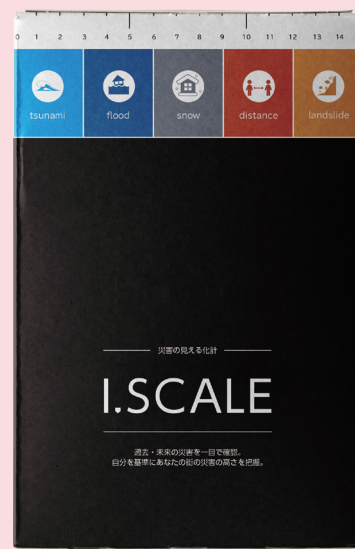
でなく、未来に起こり得る災害を日常的に意識することができる。

ステッカータイプなので、設置できる場所の選択肢が広い。

講評

オフィスやリビングなどの空間への配慮も考えられており、災害を5つに絞ったことでよりわかりやすく、見る人が自分のことのように考えられる工夫がなされています。防災への意識を高め

るためには、室内で見ることでより意識が高まると感じさせられ、色、文字、アイコンなど全体的にも丁寧にまとめられており、完成度の高い作品です。



MEDIA UNIVERSAL DESIGN COMPETITION

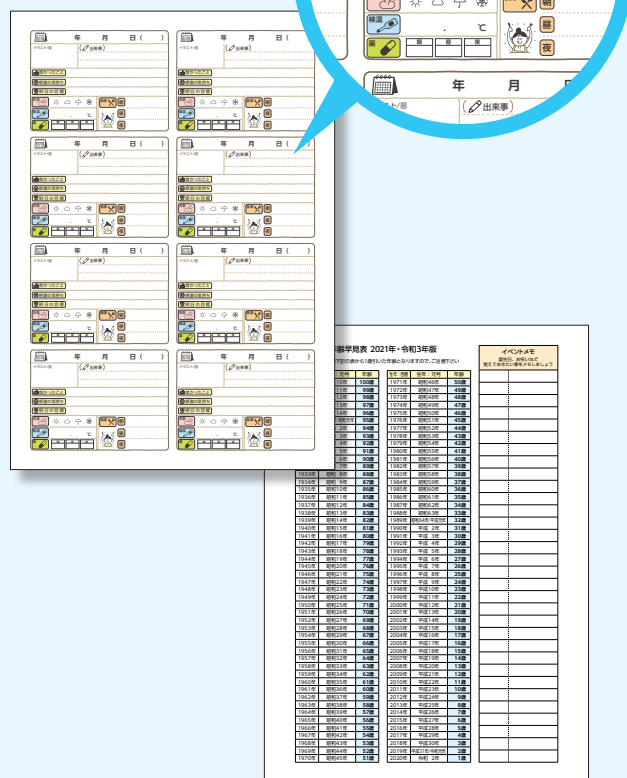




優秀賞(一般の部)

「こんな日だった」

株式会社スタジオネ63 及川美恵(岩手県)



工夫点

コロナ禍で、人と話したり出かけたりする機会も減り、ストレスをかかえている人が増えています。自己肯定感を増すためのツールとして日記を提案いたしました。

認知症の予防効果や、脳を活性化し老化を防ぐ効果、自律神経を整えて心身をコントロールする効果が得られるので、お年寄りにもぜひ使ってほしいです。

色覚障がいの方に配慮した配色、大きめの文字とUDフォント、イラストを工夫。お年寄りが毎日チェックしたい薬や食事内容(バランスの取れた食事のチェック)、検温(コロナ)なども追加し、各1行のメモ程度の内容に収めました。

講評

コロナ禍で色々な制限がある状況で、自分を見つめ直すきっかけになる作品です。検温シートだと命令になりがちですが、日々あったことを記入することで、検温や薬の服用など、自然の流れができそうです。ネガティブになりがちな日々をポジティブに過ごせるきっかけになる可能性が感じられました。



優秀賞(一般の部)

「卒カーBOOK」

株式会社スタジオネ63

小野奏江、片平琴音、木田有美、十倉信(東京都)



工夫点

「遺産相続問題」を「終活」というふうに捉え直すことで、老後のライフスタイルに計画的かつ積極的な変容を生み出したように、「免許返納」というネガティブで受け身な事項を「卒カー」という自主性と計画性を持ったワードに変換。それにまつわる心構えや現実的・社会的・肉体的な分岐点をわかりやすく解説しました。

各見開きではシンプルなイラストとともに平易な文章を併記し、少しずつ「卒カー」への理解を深めるものとしています。大きくわかりやすい文字の大きさや行間、文字量のほか、色覚に関わらず読みやすい色使い、明度・彩度にも配慮しました。



講評

まず、タイトルがいいとの審査委員からの声が多かったです。タイトルを見て考えてみようという気持ちにさせます。家族と本人双方の視点でまとめられており、イラスト、文字、背景などポイントとなる配色も考慮されています。デジタルではなくちゃんと印刷している点が、ターゲットになっている年齢の方に寄り添って考えられています。

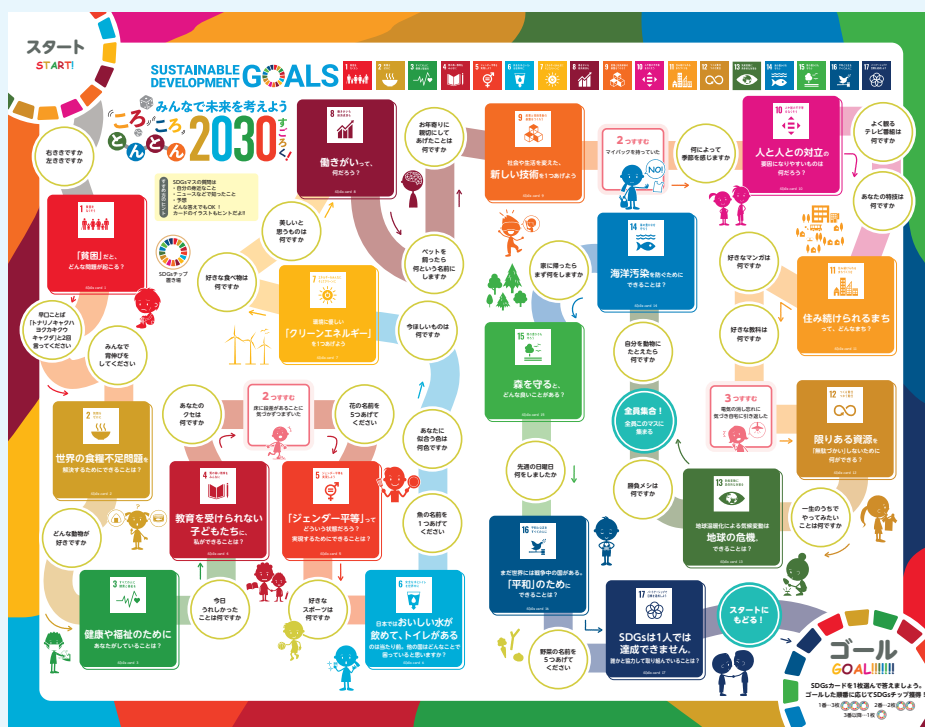


優秀賞(一般の部)

「みんなで未来を考えよう

ころころとんとん2030すごろく!!」

株式会社マルワ 板倉千夏、服部美紗子、小島知浩、服部昌城(愛知県)



工夫点

この「すごろく」は、楽しくコミュニケーションをとりながらSDGsについて考えたら身近に感じられるのではないかという発想から生まれました。誰にでも楽しんでもらえるようイラストを多く使用し、書体・色・カードの角丸加工などに配慮して作成しました。

講評

SDGsが目指す17の目標をすごろくとしてしっかりまとめられているのが素晴らしい。「SDGsという言葉は知っていても、17の細かい内容まではなかなか理解できない」。そのような意識をすごろくという見立てを使って、人の気持ちを動かすきっかけにしています。色合いも丁寧に検証されており、すごろくとしてもカラフルで楽しい作品に完成しています。



優秀賞 (学生の部)

「浜松城 道案内マップ」

静岡文化芸術大学

鈴木佑季 (静岡県)

① コンクリート・石畳



戦災被爆者慰霊碑の辺りはコンクリートがごつごつしていたり溝が目立つので注意してください。



② 土



城門前の道は土で歩きやすいですが、ここにたどり着くまでに階段を通ります。



③ 砂利道・城門付近



砂利は細かく、城門付近には岩で作られた階段があります。城の入り口は手すりの付いた階段なので車いす・ベビーカーは不可です。



④ 階段



舗装されていて手すりも付いている比較的上り下りしやすい階段です。足腰の悪い人は注意しながら上り下りできます。



⑤ 急な坂道



舗装されているが急な坂なので足腰の悪い人は自分の調子を見ながら登りましょう。



⑥ 急な階段・山道



長く、急な階段。段差も大きいので注意しましょう。しかし、天守閣には近道なので足に自信がある人は挑戦！



工夫点

観光地を歩く際に、「道の状態が事前に把握できること」で安心して楽しむことができると感じ、浜松城公園のパンフレットを制作することにしました。UD視点から道の特性を6つに分類し、実際にその道をどのような人が歩いているか観察して、人の特性に応じておすすめの道がわかるような地図を制作しました。情報量を絞り、アイコンを用いて高齢者や文字を読むのが苦手な人にも親しみやすいデザインにしました。6つの道は色や柄を組み合わせることで表現し、色弱の人にも見やすい工夫をしました。

講評

現地で道を歩いている人を調査し、その経験を活かして取り組んでいる姿勢が素晴らしい。「道」の状況から、ルートを検討したり、事前に状況を把握できる訪れる人の視点に立った、新しいマップの提案になっています。レイアウトや書体選定など、まだ改善の余地があり、更に検討しクオリティを高めて欲しい作品です。



優秀賞(学生の部)

「だいじな『いや!』」

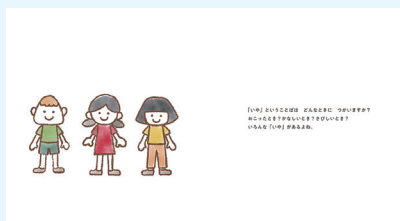
自分の気持ちと体を大切にするための 絵本」

静岡デザイン専門学校

長田裕子(静岡県)



表紙 1P



2P



3P

4P



5P



6P 7P



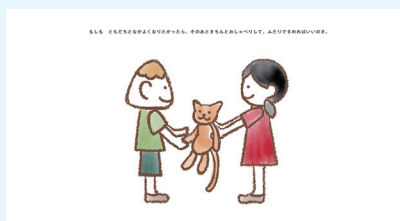
8P

9P

10P



11P



12P 13P

14P

工夫点

- ・過去の体験からどのような言葉がけが必要だったか考えた文章。
- ・自分と他者の違いや自分の気持ちを大切にすることに重きをおき、自分も相手も大切にできるよう働きかけていく。
- ・女兒だけでなく、男児にも注目したジェンダーレスな時代に沿った内容。
- ・幼児期の発達に合わせ、具体的な表現はないので保護者も読み聞かせしやすい。
- ・自分の身を守るための「いや!」を言う練習ができる。

講評

表現はシンプルですが、メッセージ性の高い作品です。子どもに語りかけるような言葉で表現されているので、大人から言われるより、自分で絵本を読むことで伝えたいメッセージが伝わりやすいように感じます。色合いや文字の大きさなど、より工夫すればより幅広い人に伝わる可能性を感じました。



優秀賞(学生の部)

「探さないカードケース」

静岡デザイン専門学校 松本耕陽(静岡県)



オモテ(展開時)



ウラ(展開時)



オモテ



ヨコ



ウラ

工夫点

自身の体験や経験から生まれたアイデアを形にしました。実際に使われることを想像しながら制作しました。

講評

ありそうでなかったものを、ミウラ折りを工夫し試作検証して取り組んだ姿勢や、カードが一覧できる情報の一覧性が共感されました。カードを探し出すのが面倒という課題を解決する視点が、カラーユニバーサルデザインとは違った視点でも評価できる作品です。



佳作（一般の部）

「はじめての引越しガイド」

杉山メディアサポート株式会社 宇佐美裕希、高倉千夏、高倉彩華（東京都）

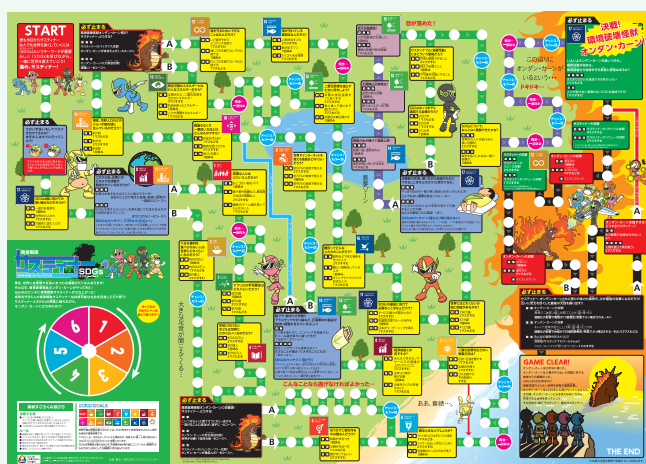


講評

引越しの面倒くささを、必要な項目がわかりやすく色合いも含めまとめられており、楽しいイメージで好感が持てます。シールを使って終了した項目が確認できる工夫や、ページの表裏で必要な情報がわかりやすくなっている点も評価されました。

「SDGs環境すごろく」

株式会社プリプレス・センター 岡田明、川村英昭、中道雅志、土持将吾、森匡史（北海道）



講評

webでもダウンロードできることで、使用できる可能性が高く、色合いについても色弱の方へ十分配慮されている作品です。内容は楽しく感じられますが、キャラクターの使用などももう少しわかりやすさを改善すれば、より共感が得られる作品になると思います。



佳作 (一般の部)

「通学路にはきけんがいっぱい さがせ! きけん虫!」

大阪シーリング印刷株式会社 田川晶子、宮西麻紀、籠谷昌典、岡田智子、大町瑞穂
坂本綾香、乗松めぐみ、増山由佳 (大阪府)

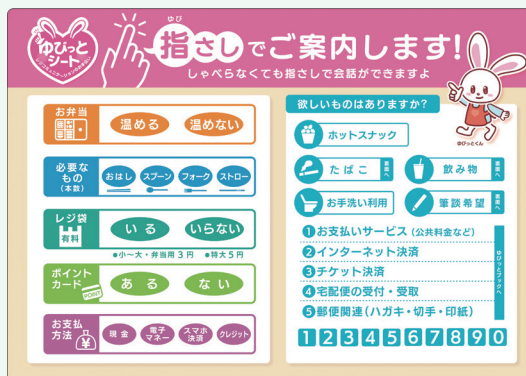


講評

ネガティブな内容を押しかけて学ばせるより、虫やシールなど子どもたちが好きなアイテムを使って、子どもたちがポジティブに自主的に学べる企画力がいいですね。室内だけでなく、現地に行くなど親子で共同作業することで、完成したものが子どもにとっても身近に感じられ意識が高まる作品です。

「レジコミュニケーションのお手伝い! ゆびっとシート」

大阪シーリング印刷株式会社 白川舞、佐藤由実、相田智孝、池田由佳、米田友規子
平田義二、西田あゆみ、柴田みお、澤山慶次 (大阪府)



講評

コロナ禍でマスクをすることで、表情がわかりにくいことを踏まえ考えられた作品。多言語対応など工夫されており、点字以外のコミュニケーションツールとして新しい可能性が感じられました。色合いについては、もう少し色弱の方への配慮も検討してもらえれば、更に可能性の広がりを感じられると思います。



佳作（一般の部）

「カードは立ててかどを立てない」

株式会社マルワ 太田圭亮（愛知県）

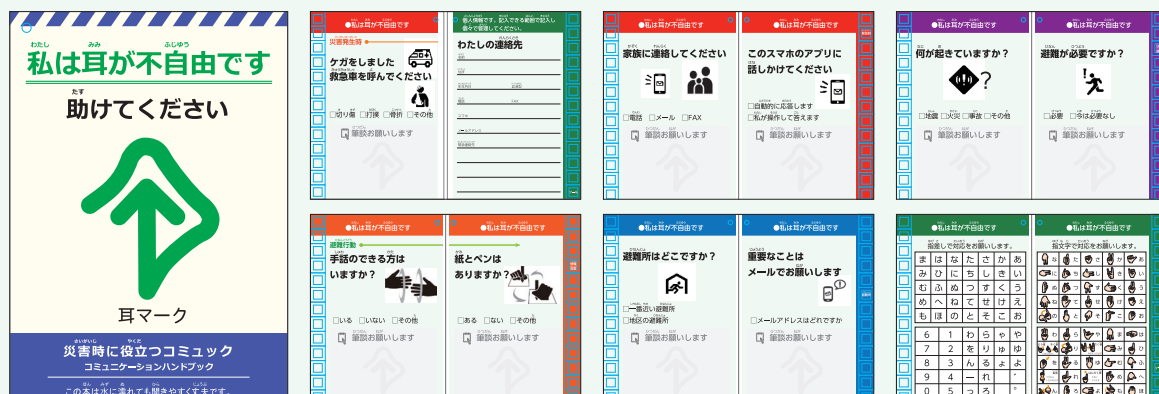


講 評

リモートでの会議でもコミュニケーションをうまく進めるための工夫が感じられます。気軽に上司へも意思を伝えられるなど、デジタルの世界に印刷の技術で新しいツールの可能性が感じられた作品です。すぐにでも使いたいと思わせられました。

「災害時に役立つ『コミュック』聴覚障害者向けコミュニケーションハンドブック」

田中手帳株式会社 田中尚寛（大阪府）



講 評

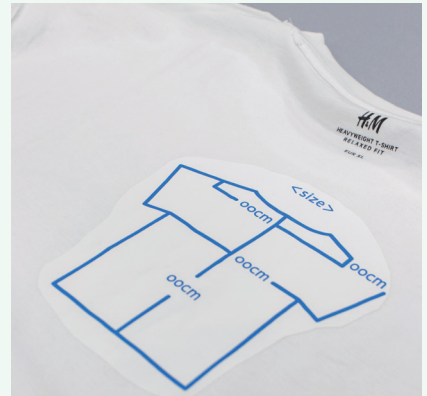
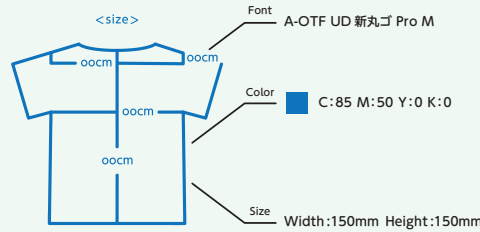
自分が何を知りたいのか？など、目次なども丁寧に制作されており、使用する紙は水に強い仕様になっています。天候にも左右されず筆談などで使用できるところまで配慮されている、コミュニケーションツールとしての可能性が感じられた作品です。



佳作（学生の部）

「服のサイズが分かる裏地プリント」

専門学校浜松デザインカレッジ 齊藤圭音（静岡県）



講 評

最近サイズなどはAIで解決する時代の中で、印刷技術の新しい可能性に期待を寄せる意見が多かった作品です。プリントが裏うつりしないか、ゴワゴワしないかなど、使う側の視点から検討する必要を感じました。

「知っておこう!点字ブロックについて」

大阪市立デザイン教育研究所 木村珠雅（大阪府）



講 評

普段目になっている、点字ブロックの知識を知る機会になったという意見が多かった作品です。本来何のために点字ブロックがあるのかの本質を理解してもらうなど、普及・啓蒙に使って欲しい作品です。

「あなたも受け継ぐ この国の伝統を。」

大阪市立デザイン教育研究所 畠山明（大阪府）



講 評

課題を見つけ、解決するためのアイデアをSDGsの項目から見つけ出し、具体的にパンフレットの提案までまとめた姿勢が評価されました。自治体などと連携して具体的な提案まで期待したい作品です。



佳作（学生の部）

「I feel」

日本電子専門学校 韓侖材（東京都）

講 評

自分が困った経験を踏まえて考えられている視点、オノマトペとビジュアルの関係など視点が新鮮な作品です。灰色と赤の組み合わせなど大切な情報が見にくい部分があるので、色合いについては、もう少し色弱の方への配慮が欲しいという意見がありました。



「証明バッチ」

静岡デザイン専門学校 小野田匠（静岡県）

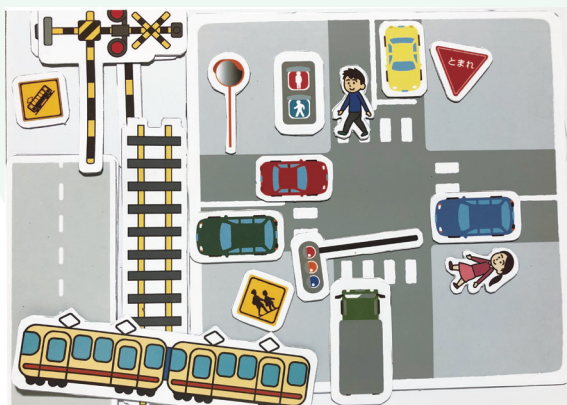


講 評

バッチで意思表示ができるシンプルな提案が共感を得ました。ただ当事者の方が実際に使う状況があるのか、デザインを提案する側として、この提案をどのように使って欲しいかを検討する必要も感じました。

「たのしい交通安全マグネット」

専門学校浜松デザインカレッジ 澤井康平（静岡県）



講 評

デザイン的にもイラストなどバランスが取れており、家の中にあることで、マグネットを使って遊びながら学ぶシチュエーションが目に見えます。マグネットの角も丸くしているなど配慮されている点も評価されました。



佳作（学生の部）

「F.Palette」

専門学校浜松デザインカレッジ ヨシムラ ラリッサ ミユキ（静岡県）



講 評

審査委員からも商品化の可能性が期待された作品です。現状のクレヨンや色鉛筆にも色の名前が記載されているため、情報が重複することへの心配などはありませんが、幼いころからMUDという考え方に触れる機会を与えられる可能性を感じられました。

審査員特別賞（学生の部）

「Our Original Universal Design Products」

福島大学附属中学校 2学年生徒（福島県）

講 評

中学2年生の生徒個々が英語の授業で“Universal Design”という単元の学習を行うなかで、オリジナルのユニバーサルデザイン商品を考えて作品です。中学生という若い世代がユニバーサルデザインについて考え、工夫を凝らした作品を創作することは非常に有意義であり、今後もこの取り組みを続けていきたいという想いを込めて審査員特別賞として表彰いたしました。

第14回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション受賞作品集

発行：2021年3月26日

発行者：全日本印刷工業組合連合会 CSR推進委員会

発行所：全日本印刷工業組合連合会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8

TEL.03-3552-4571/FAX.03-3552-7727

[URL]<http://www.aj-pia.or.jp/>

- ・本書内容の無断掲載・転載および不正使用は固くお断りいたします。
- ・本書によって発生した問題・トラブルに対してはいかなる場合においても一切の責任を負いかねます。

THE 14th

MEDIA UNIVERSAL DESIGN COMPETITION



MUD
Media Universal Design



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。